

さすが年長さん！、協調性・共同性が発揮された組体操！、迫力満点の「ちびっこリレー」(運動会NO. 4)



年少児の演技の後には年長児の番です。運動会最大の見どころは、各学年の団体演技。特に年長さんの「組体操」は、1学期後半から体操の先生の指導の下、繰り返し練習してきました。いよいよ演技の始まりです。入場門に集合し、太鼓の音を合図に「ワッショイ！」と声を出しながら走って自分のポジションに移動しました。「ドン！」という太鼓の合図で全員が座りました。初めに1人で行なう演技です。始めに「ひこうき」とう先生の声。子ども達の顔は緊張でいっぱいです。お腹に力を入れ大成功！会場からも自然と拍手が湧き起こります。子どもたちの表情は真剣そのもの。形が崩れてしまった子もいましたが、一生懸命さが伝わる演技でした。



次に2人組「親子亀、2段ベット」、3人組「クジャク、橋、タワー」と続きます。息が合っているので安心して見ていられます。特に「クジャク」では3人の息が合い、手や足の指先もきちんと伸びていてとてもきれいでした。次は、練習で一番苦戦していた6人組の「ピラミッド」です。「ピラミッド」では、一番上の子が少しふらついた組もありましたが、各組すべて成功しました。さすが本番に強い今年の年長さんです。次は「ドミノ」です。後から前の人の肩を押し、ドミノのように倒れていきます。ここでも、全員が上手に前に倒れることができ大成功でした。最後は、毎年なかなか成功しない「一本橋」です。手押し車の姿勢で、肩のところに前の子の両足が乗ります。幼稚園生にとっては、とてもつらくバランスをとるのも難しい技です。先生方も緊張した面持ちで見守っていましたが、見事に成功しました。



演技を見ていて「一人ひとりの表情から、真剣に取り組む姿勢」をしっかりと感じ取ることができました。練習の最初はなかなか上手くいきませんでしたが、お友達徐々に動き方を覚えて完成させていきました。お友達と協力して成功させた時の達成感を味わったことで、大きな自信に繋がったと感じました。

